

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

＜全学共通教養科目＞

| 科目名                         | 実務経験の授業への活用方法  | 科目責任者 | 科目担当者<br>(※は実務経験有) | 開講<br>学年 | 通年<br>前期<br>後期 | 単位数  | 必修・<br>選択等 |
|-----------------------------|--|-------|--------------------|----------|----------------|------|------------|
| 1 芸術の楽しみA                   | システム設計の思想を、論理的思考展開によるレポート作成の手法に採用し、学生に実践させる。   | 星 聖子  | 星 聖子※              | 1        | 前期             | 2 単位 | 選択         |
| 2 芸術の楽しみB                   | システム設計の思想を、論理的思考展開によるレポート作成の手法に採用し、学生に実践させる。   | 星 聖子  | 星 聖子※              | 1        | 後期             | 2 単位 | 選択         |
| 3 倫理学A                      | 医療や介護の現場の声を生かしながら、現代の医療・介護問題の本質を明らかにし、倫理的な解決策を考える。   | 鶴澤 和彦 | 鶴澤 和彦※             | 1        | 前期             | 2 単位 | 選択         |
| 4 倫理学B                      | 医療や介護の現場の声を生かしながら、現代の医療・介護問題の本質を明らかにし、倫理的な解決策を考える。   | 鶴澤 和彦 | 鶴澤 和彦※             | 1        | 後期             | 2 単位 | 選択         |
| 5 個人と社会A                    | 所属機関での社会調査経験を踏まえ、社会学における社会調査法の意義及び実際の社会調査がどのように展開されるのかを概説する。   | 前田 崇  | 前田 崇※              | 1        | 前期             | 2 単位 | 選択         |
| 6 日本と国際社会A                  | 所属研究所では、研究者、政治家、官僚、ジャーナリストなどが参画し、平和を戦略的に構築することを目指している。活動としては研究会の開催、年報、シンポジウムの開催などである。テーマは広く設定しているが、現在はサイバーセキュリティ、地域統合などを扱っている。そのため、平和研の研究成果である最新の国際情勢分析は授業でも応用されている。 | 藤巻 裕之 | 藤巻 裕之※             | 1        | 前期             | 2 単位 | 選択         |
| 7 日本と国際社会B                  | 所属研究所では、研究者、政治家、官僚、ジャーナリストなどが参画し、平和を戦略的に構築することを目指している。活動としては研究会の開催、年報、シンポジウムの開催などである。テーマは広く設定しているが、現在はサイバーセキュリティ、地域統合などを扱っている。そのため、平和研の研究成果である最新の国際情勢分析は授業でも応用されている。 | 藤巻 裕之 | 藤巻 裕之※             | 1        | 後期             | 2 単位 | 選択         |
| 8 環境を考えるA                   | 静岡県庁で環境行政に携わっており、環境保全の法規制と環境を保全する社会の仕組みや企業の取り組みなどを授業内で解説する。  | 鈴木 孝弘 | 鈴木 孝弘※             | 1        | 前期             | 2 単位 | 選択         |
| 9 環境を考えるB                   | 静岡県庁で環境行政に携わっており、環境保全の法規制と環境を保全する社会の仕組みや企業の取り組みなどを授業内で解説する。  | 鈴木 孝弘 | 鈴木 孝弘※             | 1        | 後期             | 2 単位 | 選択         |
| 10 心理学A/<br>心理学A<br>(心理学概論) | 病院での心理検査実施者としての経験から、心理検査の理論と実際を紹介する。   | 宮脇 郁  | 宮脇 郁※              | 1        | 前期             | 2 単位 | 選択         |
| 11 心理学B                     | 病院での心理検査実施者としての経験から、心理検査の理論と実際を紹介する。   | 宮脇 郁  | 宮脇 郁※              | 1        | 後期             | 2 単位 | 選択         |
| 12 健康の科学A                   | 企業での実務経験より、アナログ資料・資質のデジタル化の現実・可能性・限界について、事例を示しながら説明し、レポートに反映させる。   | 安倍 希美 | 安倍 希美※             | 1        | 前期             | 2 単位 | 選択         |
| 13 健康の科学A                   | 教育・研究機関での健康・スポーツ科学に関する測定・講義・指導経験を踏まえ、健康増進、疾病・傷害予防、スポーツの競技力向上のための理論的背景や実践方法について解説する。  | 小野 高志 | 小野 高志※             | 1        | 前期             |      | 選択         |

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

＜全学共通教養科目＞

| 科目名              | 実務経験の授業への活用方法  | 科目責任者        | 科目担当者<br>(※は実務経験有) | 開講<br>学年 | 通年<br>前期<br>後期 | 単位数  | 必修・<br>選択等              |
|------------------|--|--------------|--------------------|----------|----------------|------|-------------------------|
| 14 健康の科学<br>C    | 病院での臨床経験を踏まえ、災害発生時の医療体制及び実際のチーム医療がどのように展開されるのかを概説する。   | 北川 淳         | 梶山 和美※             | 1        | 前期<br>後期       | 2 単位 | 選択                      |
|                  | 病院での臨床経験を踏まえ、栄養が生活習慣病発症や健康の維持増進に及ぼす影響について概説する。   |              | 佐藤 照子※             |          |                |      |                         |
|                  | 理学療法士の観点から、スポーツ時に起こりうる障害・外傷とその予防法について概説する。   |              | 渡邊 裕之※             |          |                |      |                         |
|                  | SCや学生相談の実務経験に基づき、ストレスに関する知識と対処法、並びに、適切なコミュニケーションのあり方について概説する。  |              | 山田 裕子※             |          |                |      |                         |
|                  | 精神科医療機関や学生相談室での臨床経験から、ストレス対処やアサーション等について概説する。  |              | 石塚 昌保※             |          |                |      |                         |
| 15 健康とス<br>ポーツ演習 | 企業での実務経験より、アナログ資料・資質のデジタル化の現実・可能性・限界について、実例を示しながら体験させレポートに反映させる。                                       | 安倍 希美        | 安倍 希美※             | 1        | 通年             | 2 単位 | 選択                      |
| 16 健康とス<br>ポーツ演習 | 高校までの体育と社会における運動・スポーツの考え方や関わり方の違いを踏まえた授業を展開する。   | 山北 満哉        | 山北 満哉※             | 1        | 通年             |      | 選択                      |
| 17 健康とス<br>ポーツ演習 | サッカーチームでの指導経験を踏まえ、サッカーの技術や必要な体力的要素について解説する。／教育機関でのスポーツ指導経験を踏まえ、各種スポーツ種目の技術や必要な体力的要素について解説する。           | 小野 高志        | 小野 高志※             | 1        | 通年             |      | 選択                      |
| 18 健康とス<br>ポーツ演習 | プロ活動を通じて身に付けた技術、戦術、思考方法を概説する。  | 板橋クリストファーマリオ | 板橋クリストファーマリオ※      | 1        | 通年             |      | 選択                      |
| 19 北里の世界         | 研究所での細菌研究を通して、北里博士の功績に触れ、細菌学者としての北里博士や細菌学的意義を概説する。   | 岡野 安洋        | 檀原 宏文※             | 1        | 前期<br>後期       | 1 単位 | 選択 (Pを<br>除く) / P必<br>修 |
| 20 仕事と人生         | これまでの心理臨床実践に従事した経験を踏まえ、ライフキャリアを考える上で重要な自己理解とコミュニケーションに関する知見を活用し、学生のライフキャリア構築に貢献する内容を講義する。              | 高井 伸二        | 大町 知久※             | 1        | 前期             | 1 単位 | 選択<br>/PL必<br>修         |
|                  | 製薬企業での勤務経験から、医薬品業界の特徴や職種・業務内容を紹介する。また、大学での勉学と実際の職務との関わりについて説明する。                                       |              | 山田 英※              |          |                |      |                         |
|                  | 病院での臨床経験を踏まえ、学生時代の経験がどのように仕事に生かされるのか説明する。また作業療法士という患者が役割を再獲得するためのリハビリの経験に基づいて、仕事(役割)を持つ重要性や意味について紹介する。 |              | 高橋 香代子※            |          |                |      |                         |
|                  | 会社の起業経験と事業の企画実践からチーム活動の重要性と考え方の多様性に対応することの大切さを学生に認識してもらおう。特に人間関係の構築をグループディスカッションを使って、実践的に体験を通して学ぶ。     |              | 内藤 文隆※             |          |                |      |                         |
|                  | 製薬会社での実務体験を踏まえ、働くことの意義や心構え等、会社員の立場から紹介する。  |              | 佐々木 洋武※            |          |                |      |                         |
|                  | 研究所での基礎研究経験と本学での研究経験が、自身の研究人生(仕事)にどう関わってきたかを話す。  |              | 伊藤 道彦※             |          |                |      |                         |

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

＜全学共通教養科目＞

| 科目名      | 実務経験の授業への活用方法  | 科目責任者  | 科目担当者<br>(※は実務経験有) | 開講<br>学年 | 通年<br>前期<br>後期 | 単位数  | 必修・<br>選択等 |
|----------|--|--------|--------------------|----------|----------------|------|------------|
| 21 農医連携論 | 自治医科大学卒業後従事した地域医療実務を基にした、地域における食生活を含めた予防活動および食中毒に関する治療経験を授業に活用している。  | 向井 孝夫  | 堤 明純※              | 1        | 後期             | 1 単位 | 選択         |
|          | JICA専門家として短期派遣された、タイ、ネパールでの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえ、開発途上国の環境問題、衛生問題の実際について概説する。  |        | 清 和成※              |          |                |      |            |
|          | 協和醗酵工業筑波研究所における研究員としての機能性素材（食品を含む）の開発や、東洋医学総合研究所における薬剤師および太極拳指導員（2008-現在；剛柔拳舎）としての東洋医学の実践の経験を踏まえ、生活習慣の予防について、東洋医学の視点から考察する。  |        | 小林 義典※             |          |                |      |            |
|          | 農研機構・畜産草地研究所および道立農業試験場での農業と環境保全の関連研究成果を講義内容に反映させている。   |        | 寶示戸 雅之※            |          |                |      |            |
|          | 病院での臨床経験を踏まえ、動物介在療法の意義及び実際の動物介在療法がどのように展開されるのかを概説する。   |        | 饗庭 尚子※             |          |                |      |            |
|          | 地球環境及び社会生命科学に関する学際協働研究の経験から、異なる生命科学分野を専攻する学生で構成されたグループワークの指導を担当している。   |        | 齋藤 有紀子※            |          |                |      |            |
| 22 英語A I | 各企業で求められるBusiness English全般のプログラム開発からコーディネートまで携わる。特に製薬企業での研修は北里大学における医療英語の分野と深い関連性がある。／米国大学院留学対策全般。特にGREやGMATは扱える機関が少なく希少価値が高い。北里大学における留学奨励制度と大きく関連性がある。／TOEFL iBT改定直後から教材開発にも携わる。EssayやInterveiwに関する講座も担当。北里大学における留学奨励制度と大きく関連性がある。 | 塩谷 雅之  | 塩谷 雅之※             | 1        | 前期             | 1 単位 | 必修         |
| 23 英語A I | ネイティブ（米国・英国）やノンネイティブ（欧州やアジア）の人々との英語でのビジネス経験を踏まえ、より実践的な英語表現を教授する。   | 吉田 昌弘  | 吉田 昌弘※             | 1        | 前期             |      | 必修         |
| 24 英語A I | 科学的事象、動物、生命などの内容情報を的確に理解できるよう英文のフレーズに慣れ、専門的な語彙や文法構造の確認をしながら、読解力の向上を図る。   | 亀山 千景  | 亀山 千景※             | 1        | 前期             |      | 必修         |
| 25 英語A I | 学校で習った英語を基礎に、実際に社会（主に会社）で使用される英語を発展的に紹介する。   | 水沼 佳津子 | 水沼 佳津子※            | 1        | 前期             |      | 必修         |
| 26 英語A I | 英語を使ってフィリピン人チームとプロジェクトを行っていた経験を踏まえ、TOEIC英語の重要性を伝える。  | 北須賀 理沙 | 北須賀 理沙※            | 1        | 前期             |      | 必修         |

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

＜全学共通教養科目＞

| 科目名       | 実務経験の授業への活用方法  | 科目責任者            | 科目担当者<br>(※は実務経験有) | 開講<br>学年 | 通年<br>前期<br>後期 | 単位数  | 必修・<br>選択等 |
|-----------|--|------------------|--------------------|----------|----------------|------|------------|
| 27 英語A II | 各企業で求められるBusiness English全般のプログラム開発からコーディネートまで携わる。特に製薬企業での研修は北里大学における医療英語の分野と深い関連性がある。／米国大学院留学対策全般。特にGREやGMATは扱える機関が少なく希少価値が高い。北里大学における留学奨励制度と大きく関連性がある。／TOEFL iBT改定直後から教材開発にも携わる。EssayやInterveiwに関する講座も担当。北里大学における留学奨励制度と大きく関連性がある。 | 塩谷 雅之            | 塩谷 雅之※             | 1        | 後期             | 1 単位 | 必修         |
| 28 英語A II | ネイティブ（米国・英国）やノンネイティブ（欧州やアジア）の人々との英語でのビジネス経験を踏まえ、より実践的な英語表現を教授する。   | 吉田 昌弘            | 吉田 昌弘※             | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 29 英語A II | 科学的事象、動物、生命などの内容情報を的確に理解できるよう英文のフレーズに慣れ、専門的な語彙や文法構造の確認をしながら、読解力の向上を図る。   | 亀山 千景            | 亀山 千景※             | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 30 英語A II | 学校で習った英語を基礎に、実際に社会（主に会社）で使用される英語を発展的に紹介する。   | 水沼 佳津子           | 水沼 佳津子※            | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 31 英語A II | 英語を使ってフィリピン人チームとプロジェクトを行っていた経験を踏まえ、TOEIC英語の重要性を伝える。  | 北須賀 理沙           | 北須賀 理沙※            | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 32 英語B I  | 中高での英語音声指導内容を踏まえ、不足した知識を補足しながら、聴き取り・発音指導を行う。   | 森景 真紀            | 森景 真紀※             | 1        | 前期             | 1 単位 | 必修         |
| 33 英語B I  | ネイティブ（米国・英国）やノンネイティブ（欧州やアジア）の人々との英語でのビジネス経験を踏まえ、より実践的な英語表現を教授する。   | 吉田 昌弘            | 吉田 昌弘※             | 1        | 前期             |      | 必修         |
| 34 英語B I  | 英語で流れる情報を聞き取る力をつける。生命科学に関する専門的な知識をつけながら英文を正しく理解するための聞く力を養い、自らの意見を英語で表現する。またプレゼンテーションやエッセイライティングにより英語で発信する力をつける。  | 亀山 千景            | 亀山 千景※             | 1        | 前期             |      | 必修         |
| 35 英語B I  | How to teach to large groups／How to use materials creatively／Teaching complex topics in comprehensible steps／Teaching complex topics in comprehensible steps   | James Goddard    | James Goddard※     | 1        | 前期             |      | 必修         |
| 36 英語B I  | How to teach critical thinking skills in language classes／How to teach large groups／How to use materials creatively  | Hugh Kirkwood    | Hugh Kirkwood※     | 1        | 前期             |      | 必修         |
| 37 英語B I  | Integrating pair and group work into class activities／Classroom management, with large classes／Teaching project-based learning   | Richard Hawking  | Richard Hawking※   | 1        | 前期             |      | 必修         |
| 38 英語B I  | Class mangement, time management, creating lesson plans for large groups／Class mangement, time management, creating lesson plans for large groups／Time management, building rapport with students, giving individualized feedback    | Theodore Bratton | Theodore Bratton※  | 1        | 前期             |      | 必修         |
| 39 英語B I  | Small group language instruction in Vancouver, Canada to students studying abroad／Dispatch company English instruction including teaching at pharmaceutical companies  | Edmund Hoff      | Edmund Hoff※       | 1        | 前期             |      | 必修         |

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

＜全学共通教養科目＞

| 科目名      | 実務経験の授業への活用方法   | 科目責任者            | 科目担当者<br>(※は実務経験有) | 開講<br>学年 | 通年<br>前期<br>後期 | 単位数  | 必修・<br>選択等 |
|----------|---|------------------|--------------------|----------|----------------|------|------------|
| 40 英語BⅡ  | 中高での英語音声指導内容を踏まえ、不足した知識を補足しながら、聴き取り・発音指導を行う。  | 森景 真紀            | 森景 真紀※             | 1        | 後期             | 1 単位 | 必修         |
| 41 英語BⅡ  | ネイティブ(米国・英国)やノンネイティブ(欧州やアジア)の人々との英語でのビジネス経験を踏まえ、より実践的な英語表現を教授する。  | 吉田 昌弘            | 吉田 昌弘※             | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 42 英語BⅡ  | 英語で流れる情報を聞き取る力をつける。生命科学に関する専門的な知識をつけながら英文を正しく理解するための聞く力を養い、自らの意見を英語で表現する。またプレゼンテーションやエッセイライティングにより英語で発信する力をつける。   | 亀山 千景            | 亀山 千景※             | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 43 英語BⅡ  | How to teach to large groups/How to use materials creatively/Teaching complex topics in comprehensible steps/Teaching complex topics in comprehensible steps  | James Goddard    | James Goddard※     | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 44 英語BⅡ  | How to teach critical thinking skills in language classes/How to teach large groups/How to use materials creatively   | Hugh Kirkwood    | Hugh Kirkwood※     | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 45 英語BⅡ  | Integrating pair and group work into class activities/Classroom management, with large classes/Teaching project-based learning  | Richard Hawking  | Richard Hawking※   | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 46 英語BⅡ  | Class mangement, time management, creating lesson plans for large groups/Class mangement, time management, creating lesson plans for large groups/Time management, building rapport with students, giving individualized feedback | Theodore Bratton | Theodore Bratton※  | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 47 英語BⅡ  | Small group language instruction in Vancouver, Canada to students studying abroad/Dispatch company English instruction including teaching at pharmaceutical companies   | Edmund Hoff      | Edmund Hoff※       | 1        | 後期             |      | 必修         |
| 48 統計学A  | 実験・調査によって得られたデータを精査することなく統計解析を行うと誤った結論を導くことがある。講義では統計解析の理論だけでなく、実際の解析においてデータを適切に扱うための注意点も例示する。  | 高橋 翔             | 高橋 翔※              | 1        | 通年             | 4 単位 | 選択         |
| 49 情報科学A | 企業でのウェブ開発の経験を踏まえて、身近なウェブサイトがどのような仕組みでできているか解説する。  | 高野 保真            | 高野 保真※             | 1        | 前期             | 2 単位 | 選択         |
| 50 情報科学A | KDDI(株)において公衆インターネット網の設計と構築に携わった経験を活かし、ホームページを公開するインフラ(インターネット)がどのように作り上げられているか説明する。  | 杉崎 えり子           | 杉崎 えり子※            | 1        | 前期             |      | 選択         |
| 51 情報科学B | 研究所での適応型数値積分計算の経験に基づき、再帰的プログラミングの重要性認識し、授業で再帰的プログラミングと適応型数値積分を教えることにした。   | 福田 宏             | 福田 宏※              | 1        | 後期             | 2 単位 | 選択         |
| 52 情報科学B | 流体シミュレーションコード作成の経験を踏まえ、プログラミングの方法を説明する。   | 小川 智也            | 小川 智也※             | 1        | 後期             |      | 選択         |
| 53 情報科学B | 企業でのプログラミング経験を活かして、プログラミングの基礎やツールの使用方法などを解説する。  | 高野 保真            | 高野 保真※             | 1        | 後期             |      | 選択         |

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

＜全学共通教養科目＞

| 科目名      | 実務経験の授業への活用方法  | 科目責任者  | 科目担当者<br>(※は実務経験有)   | 開講<br>学年 | 通年<br>前期<br>後期 | 単位数  | 必修・<br>選択等 |
|----------|--|--------|--|----------|----------------|------|------------|
| 54 物理学   | 医療機器開発の経験を踏まえ、物理学の一現象がどのように社会に応用されるかを解説する。   | 古川 裕之  | 古川 裕之※   | 1        | 通年             | 4 単位 | 選択         |
| 55 物理学   | 地球・宇宙環境の観測・データ解析の経験から、基本的な物理法則が、自然現象の先端的な研究にどのように寄与しているのかを解説し、各法則の理解を深める。  | 吉村 玲子  | 吉村 玲子※   | 1        | 通年             |      | 必修<br>選択   |
| 56 物理学   | 研究所・センターにおける臨床経験を踏まえ、医療画像診断装置の原理や画像の見方について概説する。  | 大西 孝明  | 大西 孝明※   | 1        | 通年             |      | 必修         |
| 57 化学    | 研究所での研究経験を活かし、化学を学ぶことが生命現象と医療技術とを理解するうえでどのように役立つのかを解説している。／研究プロジェクトでの研究経験を活かし、化学を学ぶことが生命現象と医療技術とを理解するうえでどのように役立つのかを解説している。 | 野島 高彦  | 野島 高彦※   | 1        | 通年             | 4 単位 | 必修<br>選択   |
| 58 化学    | 有機化学の原料は原油精製から得られ、精製副産物を利用した製品開発を行った経験を踏まえ、化学基礎知識とその応用について概説する。  | 能登 香   | 能登 香※  | 1        | 通年             |      | 必修         |
| 59 化学実験  | 研究所での研究経験を活かし、安全に実験を進める方法や、準備学習、実験記録、報告書作成などの指導をおこなっている。／研究プロジェクトでの研究経験を活かし、安全に実験を進める方法や、準備学習、実験記録、報告書作成などの指導をおこなっている。     | 須貝 昭彦  | 須貝昭彦／江川 徹<br>／宇田郁子／野島高彦※<br>／山口佳美／能登 香<br>／大極光太  | 1        | 集中             | 1 単位 | 必修<br>選択   |
| 60 化学要習  | 研究所での研究経験を活かし、化学を学ぶことが生命現象と医療技術とを理解するうえでどのように役立つのかを解説している。／研究プロジェクトでの研究経験を活かし、化学を学ぶことが生命現象と医療技術とを理解するうえでどのように役立つのかを解説している。 | 須貝 昭彦  | 宇田郁子／野島高彦※<br>／山口佳美／能登 香<br>／大極光太  | 1        | 前期             | 1 単位 | 選択         |
| 61 生物学   | 医学系研究所での研究経験を踏まえ、生命科学分野の研究の展開や応用を紹介し、臨床等における基礎研究の重要性の認識につなげる。  | 浜崎 浩子  | 浜崎 浩子※   | 1        | 通年             | 4 単位 | 必修         |
| 62 生物学   | 研究所での経験を踏まえ、神経科学に関連する講義に役立てる。／研究所での経験を踏まえ、遺伝学に関連する講義に役立てる。   | 和田 浩則  | 和田 浩則※   | 1        | 通年             |      | 必修         |
| 63 生物学   | 研究所での勤務経験を踏まえ、研究手法を紹介する。   | 西村 真由子 | 西村 真由子※  | 1        | 通年             |      | 選択         |
| 64 生物学   | 基礎医学研究から得た経験、知識等を生物学授業に反映させている。  | 川口 奈奈子 | 川口 奈奈子※  | 1        | 通年             |      | 必修         |
| 65 生物学実験 | これまでの研究の経験を踏まえ、より平易に実践的な実験操作の方法を説明できる。   | 浜崎 浩子  | 浜崎 浩子／中村和生<br>／和田 浩則／坂田 剛<br>／加藤 智美<br>／増本 三香<br>／西村 真由子<br>／山本 貴之<br>／中森 智啓<br>／廣木 真達<br>／岩崎 美樹※<br>／古平 栄一<br>／石川 寛 | 1        | 集中             | 1 単位 | 必修<br>選択   |
| 66 教養演習A | 教育・研究機関・競技団体でのフィジカルトレーニングに関する測定・講義・指導経験を踏まえ、健康増進、疾病・傷害予防、スポーツの競技力向上のための理論的背景や実践方法について解説する。                                 | 小野 高志  | 小野 高志※   | 1        | 通年             | 2 単位 | 選択         |

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

＜全学共通教養科目＞

| 科目名                   | 実務経験の授業への活用方法  | 科目責任者 | 科目担当者<br>(※は実務経験有) | 開講<br>学年 | 通年<br>前期<br>後期 | 単位数  | 必修・<br>選択等 |
|-----------------------|--|-------|--------------------|----------|----------------|------|------------|
| 67 教養演習B              | SCや学生相談の実務経験に基づき、現代大学生の人間の成長に重要なテーマについて心理学的観点から概説し、更にグループワークを通して体験的学びを展開する。  | 山田 裕子 | 山田 裕子※             | 1        | 前期             | 1 単位 | 選択         |
| 68 教養演習C              | 翻訳者としての経験を踏まえ、外国語を日本語に訳す際の技術や外国語学習の効果的な方法を教授する。  | 三田 順  | 三田 順※              | 1        | 後期             | 1 単位 | 選択         |
| 69 教養演習C              | 企業でのプログラミング経験を活かして、論理的な指向を養うためのアルゴリズムなどについて解説する。   | 高野 保真 | 高野 保真※             | 1        | 後期             |      | 選択         |
| 70 教養演習C              | 精神科医療機関や学生相談室での臨床経験から、人間関係上の自己理解・他者理解の重要性を概説し、集団精神療法等の手法で体験学習の機会を作る。   | 石塚 昌保 | 石塚 昌保※             | 1        | 後期             |      | 選択         |
| 71 教養演習C              | これまでの心理臨床の実践経験を踏まえ、個人個人が自己理解を深め、社会生活上の適応を高めていくことに資するような学習内容を用いて、心理教育的な講義を行う。   | 大町 知久 | 大町 知久※             | 1        | 後期             |      | 選択         |
| 72 大学基礎演習             | 研究所での研究経験を活かし、計画を立てて実行する技術や、物事を科学的に考える方法について解説し、演習テーマとしている。／研究プロジェクトでの研究経験を活かし、計画を立てて実行する技術や、物事を科学的に考える方法について解説し、演習テーマとしている。   | 野島 高彦 | 野島 高彦※             | 1        | 前期             | 1 単位 | 選択         |
| 73 言語と文化A (ドイツ語-リンク1) | 翻訳者としての経験を踏まえ、外国語を日本語に訳す際の技術や外国語学習の効果的な方法を教授する。  | 三田 順  | 三田 順※              | 1        | 通年             | 2 単位 | 選択         |
| 74 言語と文化A (ドイツ語M指定)   | 翻訳者としての経験を踏まえ、外国語を日本語に訳す際の技術や外国語学習の効果的な方法を教授する。  | 三田 順  | 三田 順※              | 1        | 通年             |      | 選択         |
| 75 言語と文化A (フランス語)     | 能をフランスに紹介するNPOの理事を務めた経験を踏まえ、異文化交流の実際を概説する。／通訳業務の経験を踏まえ、外国語を使って仕事をするものの困難さやコツなどを解説する。／フランスの経済研究センターにおける翻訳業務の経験を踏まえ、外国語を使って仕事をするものの困難さやコツなどを解説する。／フランス文化を日本に紹介する事業の経験を踏まえ、異文化交流の実際を概説する。 | 黒木 朋興 | 黒木 朋興※             | 1        | 通年             |      | 選択         |
| 76 言語と文化A (フランス語-M指定) | 能をフランスに紹介するNPOの理事を務めた経験を踏まえ、異文化交流の実際を概説する。／通訳業務の経験を踏まえ、外国語を使って仕事をするものの困難さやコツなどを解説する。／フランスの経済研究センターにおける翻訳業務の経験を踏まえ、外国語を使って仕事をするものの困難さやコツなどを解説する。／フランス文化を日本に紹介する事業の経験を踏まえ、異文化交流の実際を概説する。 | 黒木 朋興 | 黒木 朋興※             | 1        | 通年             |      | 選択         |
| 77 言語と文化A (オランダ語)     | 翻訳者としての経験を踏まえ、外国語を日本語に訳す際の技術や外国語学習の効果的な方法を教授する。  | 三田 順  | 三田 順※              | 1        | 通年             |      | 選択         |

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

＜全学共通教養科目＞

| 科目名                             | 実務経験の授業への活用方法  | 科目責任者 | 科目担当者<br>(※は実務経験有) | 開講<br>学年 | 通年<br>前期<br>後期 | 単位数   | 必修・<br>選択等 |
|---------------------------------|--|-------|--------------------|----------|----------------|-------|------------|
| 78<br>言語と文化<br>B (ドイツ<br>語圏文化)  | 翻訳者としての経験を踏まえ、外国語を日本語に訳す際の技術や外国語学習の効果的な方法を教授する。  | 三田 順  | 三田 順※              | 1        | 通年             | 2 単位  | 選択         |
| 79<br>言語と文化<br>B (フランス<br>語圏文化) | 能をフランスに紹介するNPOの理事を務めた経験を踏まえ、異文化交流の実際を概説する。／通訳業務の経験を踏まえ、外国語を使って仕事をするものの困難さやコツなどを解説する。／フランスの経済研究センターにおける翻訳業務の経験を踏まえ、外国語を使って仕事をするものの困難さやコツなどを解説する。／フランス文化を日本に紹介する事業の経験を踏まえ、異文化交流の実際を概説する。 | 黒木 朋興 | 黒木 朋興※             | 1        | 通年             |       | 選択         |
| 合計                              |  |       |                    |          |                | 67 単位 |            |